

資料

用 語 解 説

ア行

RPA

ロボットによる業務自動化のこと。

ICT

「Information and Communications Technology (情報通信技術)」の略称。

ICTリテラシー

ICTを安心・安全に利用するための知識や活用するための能力など。

アスベスト

天然に産する鉱物である石綿（せきめん、いしわた）のこと。建築資材として様々な形で使用されてきたが、繊維の吸入による健康被害が判明したことから、現在では製造及び使用が禁止されている。

アビリンピック

全国障害者技能競技大会の愛称（「アビリティ」(Ability=能力)と「オリンピック」(Olympics)を合わせた言葉）。

EC（電子商取引）

「Electronic Commerce」の略称。インターネットを利用して、受発注がコンピュータネットワークシステム上で行われること。

eスポーツ

「エレクトロニック・スポーツ」の略称で、コンピュータゲームなどを用いた対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

EBPM

「Evidence Based Policy Making (エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング)」の略称。政策の目的を明確にし、統計や業務データなどの客観的な証拠に基づき、政策を立案すること。

イクメン

子育てを楽しみ、積極的に育児を行う男性のこと。

インキュベーション・マネージャー

これから事業をはじめようとする人や経験の少ない起業家へ、事業の知識やノウハウ、経営資源などに関しアドバイスを行うなど、事業の実現に向けて支援をする人。

インバウンド

外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。

HTLV-1

「Human T-cell Leukemia Virus Type 1 (ヒトT細胞白血病ウイルスI型)」の略称。

AI (Artificial Intelligence)

学習や推論など人間の知能が持つ役割をコンピュータで実現する技術のことで、人工知能ともいう。

エコライフ

地球環境に負荷の少ない生活スタイルのこと。

SNS (Social Networking Service)

個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するインターネットを利用したサービスのこと。

SDGs

「Sustainable Development Goals」の略称で、2015（平成27）年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030（令和12）年までの国際目標で、17のゴールと169のターゲットが掲げられている。

NPO (Non-Profit Organization)

営利を目的としない公益的な市民活動などを行う民間の組織、団体のこと。

オープンデータ

地方公共団体等が保有する公共データを、市民や企業等が利活用しやすいように機械判読に適した形式で、二次利用可能なルールの下で公開すること。

カ行

火山防災トップシティ

「鹿児島市火山防災トップシティ構想」（平成31年3月策定）において、「市民と地域、事業者、研究機関・行政が一体となって総合的な桜島火山に対する防災力の底上げを図るとともに、最先端の火山防災に取り組む鹿児島市を火山の魅力も交えながら世界に発信することにより、交流人口を含めた関係人口の拡大を図るもの」として本市が位置付けているもの。

合葬墓

家族、家、一族単位でなく、広く共同で使用できる墓のこと。

簡易水道

計画給水人口が101人～5,000人の水道のこと。簡易水道は、施設が簡易ということではなく、計画給水人口の規模が小さいもの。

環境管理事業所

鹿児島市環境保全条例に基づいて適正に環境管理を行い、環境への負荷の少ない事業活動を自主的に行っている事業所。愛称はグリーンオフィスかごしま。

関係人口

移住や観光でもなく、単なる帰省でもない、日常生活圏や通勤圏以外の特定の地域に継続的に多様な形で関わる人のこと。

クラウドファンディング

インターネットを介して不特定多数の人々から資金調達すること。

クリエイティブ産業

デザインをはじめ、映像・ゲーム等のコンテンツ（メディアが記録・伝送し、人が鑑賞するひとまとまりの情報）など、個人の創造性や技術、才能に由来する知的ノウハウを活用した商品・サービスを生産する産業。

コミュニティサイクル

自転車を共同利用し、どのサイクルポートでも貸出・返却ができるようにしたシステム。

サイテ

CRM (Customer Relationship Management)

顧客属性や購買履歴といったデータを蓄積・管理し、それぞれの顧客に応じた最適なサービスを提供することで、長期的な関係を築き、顧客満足度の向上や取引関係の継続に繋げる取組。

GIS (Geographic Information System)

位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術のこと。

ジオパーク

地質学的な遺産を保護し、科学教育や防災教育の場とするほか、新たな観光資源として地域の振興に生かすことを目的としたユネスコの正式事業。

事業承継

会社の経営権や資産を後継者に引き継ぐこと。親族内承継や従業員承継、M&A（合併と買収）による第三者への承継がある。

次世代自動車

電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車、クリーンディーゼル自動車など走行中のCO₂排出が少ない、または全くないなどの環境にやさしい自動車のこと。

シビックプライド

まちに誇りを抱き、より良いまちにするためにまちづくりやまちの魅力発信などに積極的に関わろうとする意識のこと。

食品ロス

まだ食べることができる食品が廃棄されてしまうこと。

シルバーハウジング

高齢者等が地域社会の中で自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう、高齢者等の生活特性に配慮した設備・仕様（段差解消・手すり・緊急通報システムなど）が施され、生活指導、相談、安否の確認、関係機関との連絡を行う生活援助員が配置されている住宅。

水源かん養林

水源を保ち育て、河川流量を調節するための森林で、雨水を一時に流出させず、常に一定量を貯えるので水資源の確保や水害防止に役立つ。

スクールソーシャルワーカー

社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家のこと。

スタートアップ

新しいビジネスモデルや市場の開拓により、短期間で大きな成長を目指す企業や事業のこと。

ストックマネジメント

既存の施設（ストック）を有効に活用し、長寿命化等を図る体系的な手法のこと。

スマート農林水産業

ロボット技術やICT等を活用し、省力化・効率化や高品質生産等を実現する新たな農林水産業のこと。

スマートホスピタル

ICT等を活用し、医療の質の向上や医療従事者の働き方改革、患者の利便性向上の実現を目指す取組。

3 R

Reduce(リデュース；ごみの発生を抑制する)、Reuse(リユース；繰り返し使う)、Recycle(リサイクル；資源として再び利用する)の3つの頭文字をとったもの。

生活習慣病

生活習慣(過食、運動不足、喫煙、過剰飲酒等)の積み重ねによって引き起こされる病気の総称。

セーフコミュニティ

「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取組のこと。または、その取組を進めているコミュニティ。

生物多様性

生きものの豊かな個性と、それぞれが支えあって生きているつながりのこと。

ゼロカーボン

CO₂などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成した状態。

潜在保育士

保育士資格を有しているが、保育士として就業していない人。

ソーシャルビジネス

少子高齢化、環境、貧困問題などの社会的課題を、ビジネスを通じて解決しようとする活動。

タ行

ダンボールコンポスト

ダンボールを活用した生ごみ処理器のこと。

地域共生社会

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。

地域コミュニティ協議会

町内会をはじめとする、地域の多様な各種団体が連携を図り、自主的・主体的に、地域の課題解決や円滑な校区コミュニティ活動を推進する組織。

地域猫

地域の有志が、地域住民の理解と協力を得たうえで、野良猫の不妊去勢手術を行い、エサ場の管理、糞尿の始末等、一定のルールに従って飼養管理する一代限りの猫。

地域包括ケア

地域の高齢者に対し、介護・医療サービスのほか見守りなどのさまざまな生活支援を、包括的、継続的に提供すること。

DMO (Destination Management/Marketing Organization)

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた組織のこと。

DV (domestic violence)

配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のこと。

デジタルサイネージ

電子看板。液晶ディスプレイなどの電子的な表示機器を使用した屋内外の標識。文字や画像、動画などを活用して、多様な案内や広告を展開することができる。通信機能を有する場合は、リアルタイムでの情報発信や任意の表示切替も可能となる。

デジタル・トランスフォーメーション

「ICTの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という考え方。

デジタルドリル

従来から教育現場等で活用されている算数ドリルや漢字ドリルなどの学習教材の電子版。自動採点等の機能を有し、パソコンやタブレット端末等で使用する。

テレワーク

職場から離れた場所でICTを活用して仕事をする事。

都市型農業

市街地と調和を保ちながら、農地の集約的・効率的な利用を行い、地域の特性を生かした農畜産物を生産し、安全安心かつ新鮮で良質な農畜産物を供給するとともに、防災や緑地保全などの農業の持つ公益的機能の点から都市と農業の共存を図ろうとする農業。

都市機能

教育、医療、福祉、商業・業務、行政など都市に必要とされるサービスを提供する機能。

都市ブランディング

都市が独自に持つ地域資源の価値を広く認知させ、他の都市と差異化されたポジティブな都市イメージ（都市ブランド）を高めていくこと。

ナ行

ネーミングライツ

施設の愛称を付ける権利のことを意味し、“命名権”とも言われるもの。本市における定義は、「本市が所有する施設の愛称を付ける権利を売却すること」。

ハ行

バイオガス

再生可能エネルギーの一つで、生ごみ・紙ごみ等（有機性廃棄物）を微生物の働きによって発酵させて発生する可燃性ガス（メタンガスと二酸化炭素が主成分）のこと。

H A C C P (Hazard Analysis and Critical Control Point) (ハサップ)

食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法のこと。

ピアサポーター

精神障害者としての経験を生かし、ピア（仲間）として支え合う活動をする方々のこと。

P F I (Private Finance Initiative)

PFI 法に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

ヒートショック

急激な温度変化により、血圧が急上昇・急降下することで失神や心筋梗塞、脳卒中などを引き起こし、身体へ悪影響を及ぼすこと。

P P P (Public Private Partnership)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。

ファミリー・サポート・センター

育児や家事の援助を依頼する依頼会員、援助を行う提供会員及びどちらも可能な両方会員で組織され、会員相互による育児の相互援助活動を実施するもの。

不育症

妊娠はするけれども、流産、死産、早期新生児死亡を繰り返す状態。

プライマリーバランス

借金（市債）を除いた歳入と返済（元金）を除いた歳出を比較したもので、歳入のほうが多くなれば黒字となり、財政が健全であることを示す。

ブランドメッセージ

まちならではの魅力や価値を凝縮した、「こんなまちでありたい」という願いを表すシティプロモーションを進めていくための合言葉。

ポータルサイト

関連する分野別に情報が整理され、リンク先が表示されているウェブサイト。

ホーム・エネルギー・マネジメント・システム（HEMS）

家庭でのエネルギー使用状況を、専用のモニターやスマートフォン等に表示することにより、家庭における快適性や省エネルギーを支援するシステム。空調や照明、電気製品等の最適な運用を促す。

保留床

市街地再開発事業によって建設された再開発ビルの従前権利者が取得する部分以外の床のこと。保留床を処分することにより、市街地再開発事業の事業費の一部の回収が図られる。

マ行

MICE（マイス）

多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

マイナポータル

行政機関などが保有する自己情報を確認できる政府が運営するオンラインサービス。

マンホールトイレ

下水道に接続する排水設備のマンホール上に、便器や簡易テント等を設置し、災害時に使用するトイレ。

メディカルコントロール

医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証すること。

ヤ行

UIJターン

進学や就職を機に故郷から都会へ移住した後、再び故郷に移住するUターン、故郷に近い都市に移住するJターン、また、進学や就職を機に故郷とは別の地域に移住するIターンの総称。

UPZ（Urgent Protective Action Planning Zone）

原子力施設において異常事象が発生した際、緊急事態を判断する基準などにに基づき、緊急防護措置を準備する区域であり、原子力発電所を中心としておおむね半径5～30kmの範囲内。

ラ行

ライフサイクルコスト

施設における初期建設費用とその後の維持管理更新費用等を含めた生涯費用の総計（トータルコスト）のこと。

ライフプランニング

人生設計。自分の生活や人生をどのようなものにしていくか計画をたてること。

LINE（ライン）

スマートフォンなどで利用できるソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の一つで、メッセージの送受信や音声通話などの機能を有する。

リノベーション

古い建物の機能を今の時代に適したあり方に変えて、新しい機能を付与すること。

連携中枢都市圏

地方圏において、昼夜間人口比率がおおむね1以上の指定都市・中核市と、社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村とで形成する都市圏。

6次産業化

農林水産業者が、農林水産物の生産（1次産業）だけでなく、食品加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）にも主体的かつ総合的に関わることで、付加価値の向上を図るもの。

ワ行

ワーク・ライフ・バランス

「仕事と生活の調和」。一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

WAN（Wide Area Network）

離れた施設や地域に分散しているネットワークを連携することで構築される通信網のこと。